

社団法人日本脳神経外科学会  
第68回学術総会  
ランチオンセミナー9

# 脳外科医のための 認知症 画像診断

10 | 14 | 12:10  
2009 | 水 | 13:10

京王プラザホテル | 会場(本館43F ムーンライト)  
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

座長

**中川原 譲二 先生**

医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長

演者

**羽生 春夫 先生**

東京医科大学 老年病科 准教授



共催：社団法人日本脳神経外科学会 第68回学術総会  
日本脳神経核医学研究会 / 日本メジフィジックス株式会社

 nihon  
medi+physics

## 脳外科医のための認知症画像診断

社会の高齢化に伴い、アルツハイマー型認知症と脳血管障害に伴う脳血管性認知症が増加している。脳血管性認知症の場合、画像診断で微小病変が見つかるような場合でも、これらが認知症状の原因になっているかどうかの判別は難しく、実際にはアルツハイマー病が認知症の原因となっている場合が少なくない。「脳血管障害に伴うアルツハイマー型認知症」では、脳血管障害の二次予防とともにアルツハイマー型認知症に対する診療計画が重要となる。アルツハイマー型認知症の危険因子のうち、家族歴・ApoEε4などの遺伝子型を除けば、年齢・高血圧・糖尿病・喫煙・高脂血症などは、いずれも脳血管障害の危険因子と共通しており、これらの危険因子のコントロールが重要であることは言うまでもない。

アルツハイマー型認知症の画像診断として、脳血流SPECTが重要な役割を果たしているが、特に3D-SSPなどの統計画像解析により見出される後部帯状回、楔前部などの脳血流の低下所見は、早期アルツハイマー型認知症に見られる特徴所見として重要である。

医療法人医仁会 中村記念病院  
脳神経外科 診療本部長

中川原 譲二

About JCNN

### 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

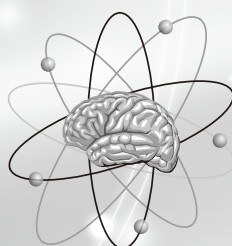
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN